

ガーデンシティみしまの推進

アナ： 『市長が語る 2020 三島』 第7回の今日は、ガーデンシティみしま推進事業の中から「ガーデンシティみしま花飾り事業」と「清住緑地拡張整備事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 今週末開催予定でした「みしま花のまちフェア」が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、花飾り等ガーデンシティの取組みについて、教えていただけますか。

市長： 「みしま花のまちフェア」は第8回を迎え、ようやく春のイベントとして定着してきたところでしたが、市民の皆様、関係者の皆様の安全及び感染防止を第一に考え、本年はイベントを中止としました。

しかしながら、三島駅南口周辺の立体花飾りや白滝公園前の壁面花壇、中心市街地の花飾りにつきましては、花のまちフェア開催時と同様に設置していきます。先の見えない事態が続いているこのような時だからこそ、新緑の木々や花が皆様の癒しになればと思います。

アナ： イベントは中止となりましたが、少しでも皆さんが花に癒され笑顔になれるといいですね。

次に「清住緑地拡張整備事業」についてお伺いします。

市長： 平成27年10月に「三島市、清水町“水の郷”構想検討会」を設立し、誰もが「住みたい、訪れたい」と感じてもらえる まちづくりの一環として、JR三島駅から柿田川公園の間に点在する水と緑のオープンスペースを結ぶ回遊ルートの整備に取り組んでおります。

清住緑地拡張整備事業は、清住緑地をルート上の中継拠点に位置付けて、地域との一体化を図り整備を行う事業になります。清住緑地は、市街地にありながら豊富な湧水や多様な動植物が生息する豊かな自然環境を残しており、環境教育の場としても活用されています。また、この清住緑地の南側に隣接するエリアは、以前、養魚場として使用されていたのですが、既存の清住緑地と一体的なビオトープとして整備することにより、さらなる活用と魅力の向上を目指しています。

アナ： その拡張整備の内容を詳しく教えていただけますか。

市長： 平成30年度に開催しましたワークショップの中で、地元自治会や周辺住民の皆様からのご意見、ご要望を伺いながら、多くの方々に親しまれる緑地とすべく、整備計画の策定及び実施設計を行いました。その方針は、周辺住民の皆様と共存できる緑地の整備に加え、子どもたちが水と自然に親しむことができ、また、災害等の有事の際には、湧水を生活用水として利用できる形を用意します。なお、

先程お話ししました回遊ルートを活かすためにも、拡張整備するエリアと清水町丸池側とを結ぶ橋の整備を、7月末頃の完成を目指し、進めているところです。

アナ： また一つ新たなガーデンシティの回遊ルートができ、更に多くの市民や観光客が三島の街をウォーキングされることでしょうかね。

市長： そうですね。

中心市街地の花飾り事業も清住緑地拡張整備事業も、ガーデンシティの推進だけではなくスマートウェルネスとの相乗効果が期待できますので、積極的に取り組み、市民の皆様の健幸づくりにもつなげていきたいと考えております。

アナ： これからも、「美しく品格のあるまち」そして「“健幸”なまち」にふさわしい三島市となるような取り組みを期待しています。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。